



2025年3月期(84期)第1四半期  
決算説明資料

2024年7月31日

石井食品株式会社  
(東証スタンダード:2894)

イシイの  
本気は、  
裏に出る。

## 増収もコスト増で減益、年間対比では27.4%で進捗。

当期は、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復の動きが見られた一方で、円安傾向の継続、資源・エネルギー価格の高止まりは続いており、先行き不透明な状況が継続しております。

このような中、50周年を迎えるミートボールを中心とした販売促進施策を講じた結果、主力である食肉加工品の売上高は堅調に推移しております。

また、地域の食材を旬の時期だけ使用した地域商品は、店頭展開の定着化及び価格改定を行ったことにより売上高が増加しております。さらに、非常食をはじめとする常温商品につきましては、災害備蓄やローリングストック等、長期保存食の需要が引き続き高まっており、オンラインストアを中心に好調に推移しております。

コスト面では、生活防衛等の観点からベースアップを実施したことによる人件費の増加、設備更新投資の継続的实施及びソフトウェアの本格稼働による減価償却費の増加などがあり、結果的に増収減益となっておりますが、業績予想における営業利益対比では、27.4%の進捗率となっております。

# 2025年3月期第1四半期-連結業績

- (1) 売上高は27億円で、前年同期比1億円の増収。
- (2) 営業利益は0.6億円で、前年同期比1.6億円の減益。
- (3) 当期純利益は0.1億円で、前期からの黒字を継続。

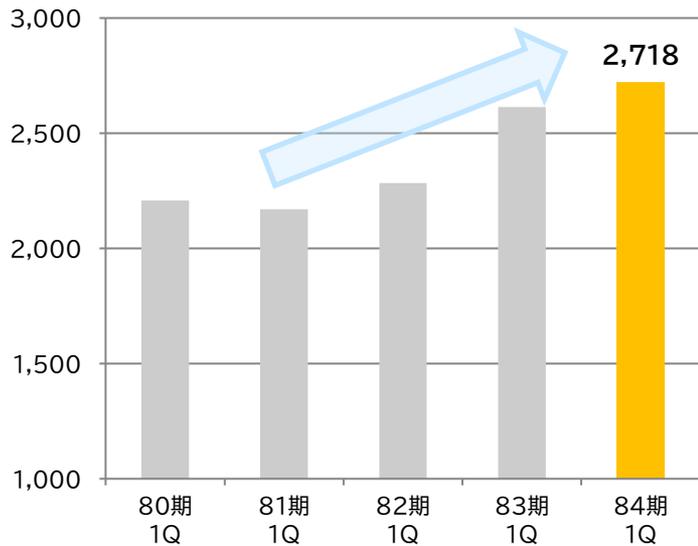
(単位:百万円)

	23/3期1Q	24/3期1Q	25/3期1Q	前差
売上高	2,283	2,613	2,718	+104
売上総利益	692	950	910	△39
営業利益	5	235	68	△166
経常利益	5	247	74	△172
当期純利益	△2	173	15	△158
EBITDA	50	283	157	△126

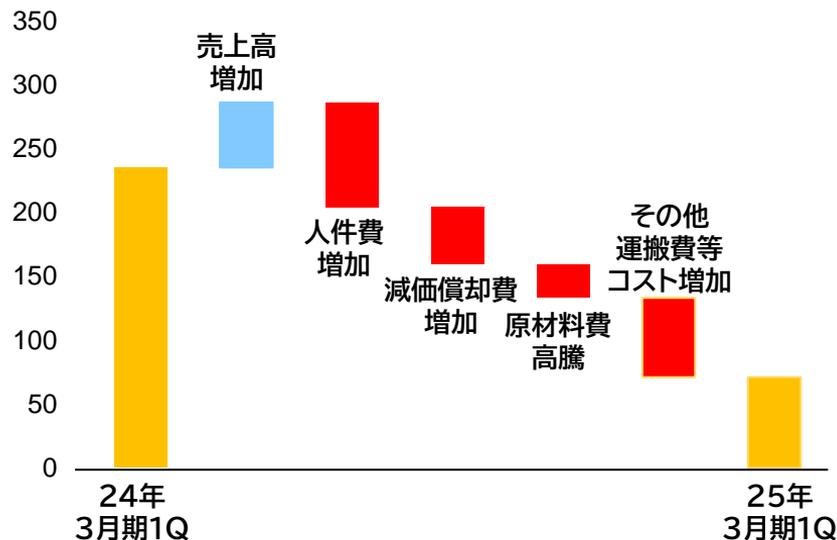
# 2025年3月期第1四半期-営業利益

- (1) 前年同期の営業利益2.3億円から、今期は0.6億円と1.6億円の減益。
- (2) 50周年を迎えるミートボールを中心に販売施策が功を奏し、増収。
- (3) 成長のための積極的な人財獲得及びベースアップにより、人件費は増加。
- (4) 設備の更新投資及びソフトウェアの導入により減価償却費が増加。

第1Q累計 過去5期の売上高推移



営業利益 前年差要因



# 2025年3月期第1四半期-財務状況

- (1) 積極的な投資を進めていることにより、資産は約12億円増加。現預金は20億円超で安定。
- (2) 純資産は約4億円増加。自己資本比率は40%台を維持。

(単位:百万円)

	24/3期1Q	25/3期1Q	前差
現預金等	2,068	2,276	+207
資産合計	6,910	8,196	+1,286
有利子負債	1,918	1,991	+73
負債合計	3,887	4,759	+872
流動比率	120.3%	111.3%	△9.1%
純資産合計	3,023	3,437	+414
自己資本比率	43.7%	41.9%	△1.8%

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。  
本資料(業績予想を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいて弊社が作成したものでありますが、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なることが起こります。